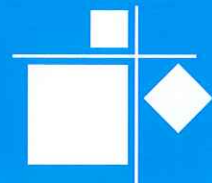


S U P P O R T E R



toho international art triennial

サポーター活動



サポーター養成講座



アートを身近に感じたい
と思い参加しました。専
門的な知識はありません
が、少しでもお手伝い
できればと思います。
(第1回講座参加アン
ケートから)



少しずつ、見えてきま
した。作家についても
少しわかってきたよ
うに思います。
(第2回講座参加アン
ケートから)



あっという間の2時間で楽しく有意義な講座
でした。おもてなし(人への接客)方法を改め
て学ぶことができました。現場で活用できる
ようにしたいと思います。
(第3回講座参加アンケートから)

登米アートトリエンナーレ2010 サポーターの歩み

第1回 サポーター養成講座

6月30日(水) 午後7時~8時30分

- 「幾何学構成アートの世界in TOME」DVD上映
- 登米アートトリエンナーレ2010概要説明

サポーター募集
6月~HP、チラシ、
ポスターなどで募集

第2回 サポーター養成講座

7月14日(水) 午後7時~8時30分

- 招待作家の紹介
- サポーターの種類と仕事内容の説明

ワークショップ・作品展示
サポーター募集
9月19日~HPで募集

第3回 サポーター養成講座

8月4日(水) 午後7時~9時

- おもてなし講座
(講師:インターサーブホスピタリティ代表取締役/木島 上 氏)

会場サポーター追加募集
9月24日~HP H@FM・河北新報・
大崎タイムス等で募集

第4回 サポーター養成講座

8月20日(金) 午後7時~9時

- トリエンナーレのイメージ
- 会場サポーターの役割と心得

会場サポーター10月の活動説明会
9月28日(火) 午後7時~9時
■各会場作品紹介について
■サポーターの心構えについて

サポーター活動(延べ 2,035人)

活動期間 2010年6月~10月31日

活動内容

ポスター発送作業、ミュージアム展示替え作業、作品制作アシスタント、
外国人作家のホームティ、宿泊施設でのお世話、昼食・夕食の提供、
会場サポーター、周回バス添乗員、まちかど演奏会運営、イベント出演、
ワークショップアシスタント、広報、HP制作、記録撮影、会場提供、交流会運営

活動場所

Satoru Sato Art Museum(登米市中田生涯学習センター)、みやぎの明治村、
みなみかた花菖蒲の郷公園、石森地区、登米市歴史博物館、
登米祝祭劇場、諏訪公園、ふるさと交流館、迫公民館

サポーター活動

6月/ポスター発送



サポーターはトリエンナーレをボランティアで支えてくださる方々です。会期前からさまざまな準備作業やイベントのサポート等お手伝いをいただきました。

会期中には会場サポーターや作家・制作アシスタントの宿泊施設の賄いなどたくさんの分野で活躍いただきました。



『2010年アートの芽』会場サポーター/佐藤 貴子

二ヶ月のサポーター経験の中、アートに触れれば触れる程「幾何学アート」を知らずに生きていた事を勿体無く思うようになっていきました。

作家の先生方の作品は総てが個性的。これほど素晴らしい作品がひとつではなく、沢山登米市に集っている事が夢の様でした。

子供達の綺麗な瞳にはどんな風に記憶されたでしょうか。アートトリエンナーレは子供達の夢の選択をひとつ増やしたのではないのでしょうか?側にいつもアートがあった毎日、芽生えたアートの夢は三年後には大きく膨らんでいるはずです。

年代や性別を越えて登米市という土地と人がひとつの輪になったアートトリエンナーレ。それこそが「アートの力」だったのではないかと考えております。



8月/トリエンナーレ開幕にむけ、ミュージアム展示替え



9/1~10、記録撮影するフォトサポーター

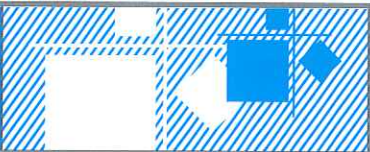


9月/会場サポーター活動開始



8月末/会場案内テント設置

サポーター活動 (会場サポーター)



会場サポーターは来場者のご案内、ミュージアムショップ運営などトリエンナーレではなくてはならない存在として全日程の61日間活動いただきました。



会場サポーターの一日

- 9:00 中田生涯学習センター集合
打合せ及びサポーターグッズ受取
～各会場へ移動～
- 9:30 会場到着 地区施設挨拶・会場設営
会場サポーター活動開始
- 12:00 交代で昼食
会場サポーター活動
- 16:30 会場撤収・地区施設へ挨拶
- 17:00 ～中田生涯学習センターへ移動～
来場者等報告 終了

『ありがとう』うじいえ 英人

見渡す限りの田園風景、点在するアート作品の数々。○△□と直線を中心に組み合わせる「幾何学構成アート」という一般的には馴染みの薄い分野だったが、期間中、全国から多数のファンが訪れ、また、市民の目を楽しませ、心を和ませてくれました。

物はあふれているのに、なにやら閉塞感が漂っている現代日本。市民生活にゆとりがなく、今は「アートを楽しむ余裕」をあまり持てない寂しい時代なのかもしれないけれど「アートの力」が、あらためて人と人をつなげてくれたような気がします。

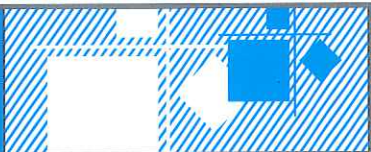
残暑厳しい中、登米市全体をキャンパスに開催された「登米アートトリエンナーレ2010」。

私は会場サポーターとして手伝う機会をいただき、多くの人との出会いを楽しみました。

3年後、よりパワーアップした「登米トリエンナーレ2013」に期待したいと心から思っているひとりで。



サポーター活動 (賄い)



賄いサポーターは制作期間中(9/1~9/10)作家・制作アシスタント・会場サポーターの食事サポートをしていただきました。海外や県外から参加した作家・制作アシスタントの皆さんは、登米市のお母さん達の手作りの食事サポートに感激し「最高のおもてなし」と絶賛されました。

『トリエンナーレとずんだ餅』 鈴木 洋子(北方婦人会)

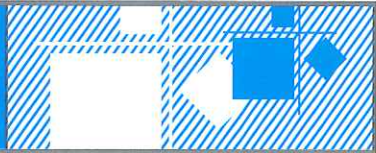
登米市の一大イベントとして開催されたアートトリエンナーレ、一体どんなものか私にはわからずじまいでした。しかし、皆さんからお話や説明をいただくうちに登米市におけるすばらしい祭典であるとのこと、私たち婦人会も何か手伝いをと、食事作りや案内のボランティアとしてアートへのかかわりを持つことが出来ました。

私たち北方婦人会は、夕食時に地元のずんだ餅、えび餅、雑煮とごちそうしましたが、皆さんの中には餅を食べたことのない人、又、ずんだ餅、えび餅は初めての方もあり、いろいろと説明をしながら食べていただきましたが、皆さんに満足いただけなかったのでは、と反省もいたしました。

しかし、このすばらしい美の祭典は登米市内の皆さんはもちろんのこと、広く県内の方々にも感動を与えたことと思います。又、三年後に開催とのこと、私たちの出来ることは何か、すばらしいアートの祭典に期待いたします。



サポーター活動 (賄い)



昼食弁当と
包み紙

登米名物「はっと」も
好評でした!



賄いサポーター活動の記録

- 9/1(水) 昼食 佐沼婦人会
夕食 迫社協ボランティア友の会
- 9/2(木) 昼食 東和・米山・南方
社協ボランティア友の会
夕食 中田社協ボランティア友の会
- 9/3(金) 昼食 津山・豊里
社協ボランティア友の会
夕食 石越社協ボランティア友の会
- 9/4(土) 昼食 迫・登米社協ボランティア友の会
- 9/5(日) 昼食 中田社協ボランティア友の会
- 9/5(日) 夕食 北方婦人会
- 9/6(月) 昼食 森婦人会
- 9/6(月) 夕食 南方・東和JAみやぎ登米女性部
- 9/7(火) 昼食 新田婦人会
- 9/7(火) 夕食 迫・豊里JAみやぎ登米女性部
- 9/8(水) 夕食 登米・米山JAみやぎ登米女性部
☆社協: 社会福祉協議会

サポーター活動 (制作アシスタント)



制作アシスタントは制作期間中(9/1~9/10)、作家のアシスタントとして作家をサポートしていただきました。

半分以上が県外からの参加。登米アートトリエンナーレ参加作家への関心の高さがうかがえました。

『登米アートトリエンナーレに参加して』

制作アシスタント/荒木 悟

私は、登米アートトリエンナーレに制作アシスタントとして参加し、様々な人と出会い、協力し合い、アーティストの方々の作品制作などに尽力しました。

私は多くの人と協力して作品を作るのは初めてで、いつもと違う感覚を受けました。また、私はいつも油絵という平面作品を作っているので、幾何学形態の立体作品に触れる機会というのは、新鮮でした。

こうした新しい体験や様々な方と作品や美術に対する話ができて、楽しかったです。そして、アーティストの方の美しく、独創性ある作品に刺激を受けましたし、様々な人とこのイベントを通して繋がりが持てたということが大きかったと思います。これからこの経験を生かしていきたいです。



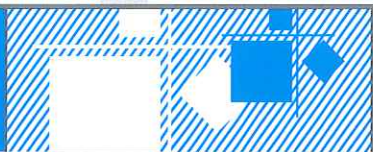
▲ちょっとひととき
世界の芸術を体感



▲未来のキュレーターに…



サポーター活動 (制作アシスタント)



2011年2月おたよりをいただきました。ご紹介します。

制作アシスタント 山田 黄葉

登米アートトリエンナーレでは大変お世話になりました。先日2週間ほど、守屋先生の展覧会のお手伝いをさせていただく機会がありました。

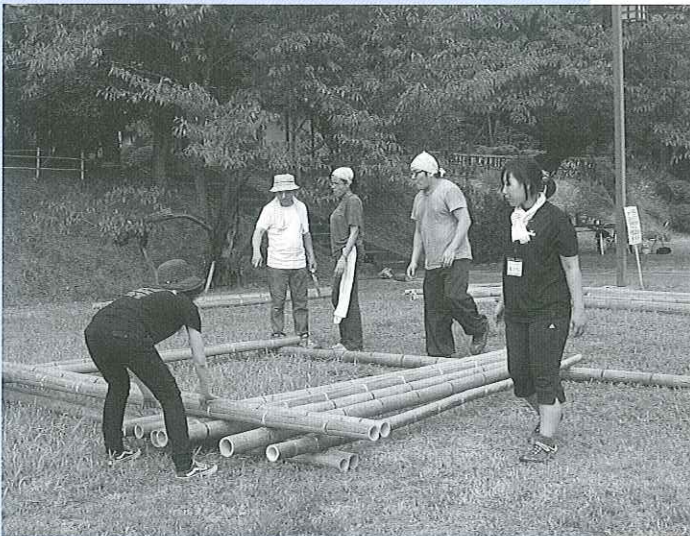
再び先生とご一緒できる機会が巡ってくるとは考えてもいなかったのですが、今回のような巡り合わせがあったのも、ひとえに登米アートトリエンナーレという素敵な出会いの舞台があったからだと思いました。

このプロジェクトに参加させていただけたことに本当に、本当に感謝しております。スタッフの皆様におかれましては、立ち上げから期間中、そして期間後も大変な苦勞があったことと存じます。

私は登米という土地をまったく知らずにお邪魔したのですが、ボランティアの皆さんが大変温かく迎えてくださったので、たった1週間でしたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。

美しい風景や、美味しいご飯も印象的ですが、登米の皆さんの優しさに一番感動しました。

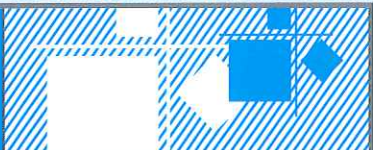
3年後の第二回登米アートトリエンナーレを楽しみにしております。



▲国際的アーティスト達を支える制作アシスタント

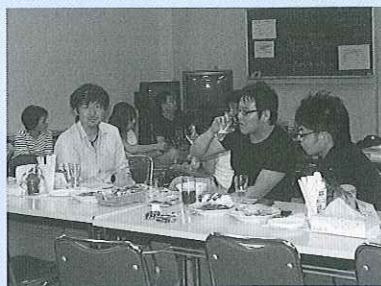
サポーター活動

(交流館の様子)

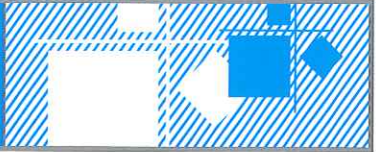


作家・制作アシスタントの皆さんは市外県外そして海外からの参加です。制作期間中は、景観豊かなふるさと交流館に宿泊していただきました。

食事・施設内のお世話は市民によるボランティアで行われ、作家を中心に制作アシスタント・登米市民の交流が……。



サポーター活動 (交流館の様子)



サポーター活動 (ホームステイ受入れ)



▲ホームステイ受入れ打合せの様子

海外参加作家の方々は登米市国際交流協会のご協力でのホームステイ滞りました。各家庭でのあたたかいおもてなしに海外作家の皆さんは感激されていました。



▲浴衣を着て

家族との交流も深まり、こどもたちにとってもかけがえのない貴重な体験となりました。
(ホストファミリーからの感想)



▲森田家の様子



▲伊藤家の様子



お抹茶を体験

登米アートリエナーレ交流会

主催:登米市国際交流協会

開催月日 2010年9月4日(土)

19:00~

開催場所 アンジェリク



▲演奏:とめ・くりはらマンドリンクラブ



▲踊り:舞踊熊谷流

▲ヴィーナスの湯
阿部マネージャーによる
蓮華杯

作家・制作アシスタント・ホームステイ受入家族・関係者によるポットラックパーティが行われました。施設となりでは、長沼温泉ヴィーナスの湯マネージャーによる蓮華杯のおもてなしもありました。



サポーター活動 (周回バスガイド)



車内でのガイドの様子

会期中の9月～10月の土日、全会場をつなぐ周回バスが運行されました。

バスには登米市観光物産協会おもてなし推進員の皆さんがガイドとして乗車。トリエンナーレ作品の説明だけでなく、登米市の歴史や特産品などを紹介し、登米市にはじめて訪れた県内外からのお客様に大変好評でした。



▲バス2台・ワゴンが会場を周回



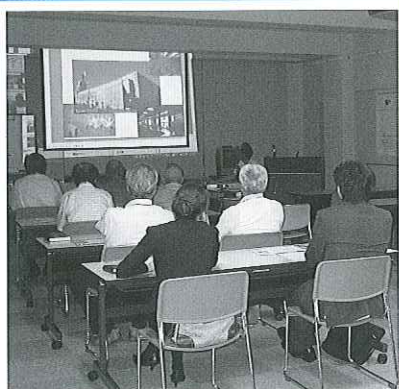
登米の由来なども聞いて興味深かったです。登米にまたゆつくり来ます。
(乗車アンケートから)

展示物の場所をもう少し分かりやすく教えてほしかったです。
(参加アンケートから)

私は登米市民ですが、市内にいても知らないことが多い。諏訪公園、ミュージアムもそのひとつ。今回登米市の良さを再発見しました。ありがとうございます。
(乗車アンケートから)



作品を巡るにしてもバスとガイドさんがいなければスムーズにいかなかったと思うので大変よかったです。
(乗車アンケートから)



講座に参加するおもてなし推進員の皆さん
会期前からサポーター養成講座に参加のほか、試走を重ねるなどご尽力いただきました。

登米アートトリエンナーレ
サポーター感謝のつどい

スタンプラリー公開抽選同時開催

開催月日 2010年12月11日(土)
12:00~14:00
開催場所 中田生涯学習センター
多目的ホール
参加人数 102人



～プログラム～

- ① 開会
- ② 挨拶
- ③ 事業概要報告
- ④ ねぎらいの言葉
- ⑤ イベント記録映像上映
- ⑥ 懇談
 - (1) 乾杯
 - (2) 演奏
 - (3) サポータースピーチ
 - (4) アドバイザースピーチ
 - (5) 抽選会
- ⑦ 記念撮影
- ⑧ 閉会の挨拶
- ⑨ 閉会



感謝のつどいは、登米トリエンナーレをボランティアで支えてくださったサポーターの皆さんを招き、スタッフ手作りの焼き鳥や漬物・ケーキ・もち等がふるまわれました。

◀演奏：清水バンド



▲乾杯：中田婦人会会長 ▲秘伝の手作りタレの焼き鳥です



▲サポータースピーチ

食事のお世話と会場サポーターを3日間行いました。色々な方とのふれあい・出会いがあり思いがけず芸術に出会うことができました。3年後にまたあるということで、その時まで健康を保って参加したいと思います。素晴らしい出会いをありがとうございます。(参加アンケートから)

ローカルな場所でこんな素晴らしい催しができること、気持ちがあれば何でも可能だと実感しました。これからも何かの形で協力できると思います。2・3回と続け日本を代表するイベントとして頑張りたいです。(参加アンケートから)

とても和やかで出会いもあった感謝のつどいでした。今回関わるチャンスに恵まれ本当に幸せです。新しい発見もたくさんありました。次回はアートに触れる機会を増やす企画にスタッフとして参加したいです。(参加アンケートから)



▲感謝の気持ちを込めた手作りケーキ



このように登米市がひとつになれるイベントが増えるといいですね。(参加アンケートから)



昼食作りと会場サポーターのボランティアをさせていただきましたが、ほんの一部だったことが改めてわかりました。一年以上前から準備され、関わった皆様本当にご苦労さまです。DVDや話の中からさらに理解が深まりました。もちや手作りのごちそう大変おいしかったです。(参加アンケートから)

感謝のつどもアートホーム内容でとても良かったです。やはり女性の力を借りてのイベントは大事だと思いました。(参加アンケートから)

DVDを見て感動しました。あまり関心なかったのですが3年後が楽しみになりました。(参加アンケートから)

▲トリエンナーレをふりかえるDVD鑑賞

登米アートトリエンナーレは沢山の市民の皆さんの力を感じられて有意義なイベントでした。(参加アンケートから)



◀もちきりをする
中田婦人会の皆さん

▼トリエンナーレ関連
グッズがあたる抽選会



「アート」というとちょっと敷居が高い感じてましたが、各会場を見てまわるうちに、楽しさを感じ(作品を探検するような、パズルを解くような)時間がたつのを忘れました。物を観る視点が広がったような気がします。帰りには道路わきの電柱や看板まで影や色彩が気になってしまうほどでした。今回の経験を基に次回はさらに素晴らしい催しになることと期待しています。(参加アンケートから)



登米アートトリエンナーレ サポーター感謝のつどい



フランス往復航空券があたるスタンプラリー抽選が「サポーター感謝のつどい」にて、公開抽選で行われました。

くじを引く登米市長も緊張! 登米特産品などの抽選も行われ、会場内では名前が読み上げられるたびにどよめきと歓声があがりました。

▲一等フランス(ペア)往復航空券をいよいよ抽選!



▲布施市長も緊張!



▲どきどき…この方です!

スタンプラリー

- 1等 フランス(ペア) 往復航空券……1名
- 2等 登米市特産品……10名
- 3等 登米アートトリエンナーレグッズ……50名



▲佐藤実行委員長による2等3等抽選



▲会場内は緊張と歓声に包まれました